

平成27年第4回定例会

一般質問通告書（質問事項要旨）

平成27年 12月15日
12月16日（3日間）
12月17日

南風原町議会

目次（一般質問日程表）

順番	議席番号	氏名	頁	質問日
1	12番議員	上原喜代子	2	12月15日（火）
2	14番議員	金城好春	3	
3	3番議員	大城勝	5	
4	5番議員	照屋仁士	7	
5	1番議員	知念富信	8	
6	11番議員	宮城寛諄	10	12月16日（水）
7	7番議員	浦崎みゆき	11	
8	2番議員	新垣由雄	12	
9	4番議員	大宜見洋文	13	
10	13番議員	玉城勇	15	
11	6番議員	赤嶺奈津江	17	12月17日（木）
12	10番議員	大城毅	18	
13	8番議員	花城清文	19	

平成27年12月8日作成

□ 上原喜代子 議員

1. 南星中学校の校舎整備について

(町長・教育委員長)

(1) 南星中学校は昭和62年4月に開校し、築28年となる。建物の塗装工事の計画はあるか。

(2) 南星中学校の玄関ホールはくつ箱を撤去し、広々とした空間となっている。床の凹凸をなくし、使い勝手のある工夫が必要と感じるが、改善する考えはあるか。

2. 国保財政支援について

(町長)

(1) 特別調整交付金の財政支援額が、本年度（平成27年度）から8億円の増額となった。交付要因として、未就学児被保険者の加入率が全国平均を上回るためとしている。これは沖縄県だけのことか。

(2) 沖縄県国保連合会によると、県内一人あたりの医療費の赤字額は2万4千円で、全国の1万円を大きく上回っている。その要因となる沖縄の特殊事情に対し、明るい展望はあるか。

(3) 国保連合会によると本年度（平成27年度）から低所得者数に応じた財政支援が当初見込みの30億円から約21億円に抑えられる見通しという。どう考えるか。

□ 金城好春 議員

1. 婚姻届にはえるんの活用を

(町長)

(1) 婚姻届の用紙に「はえるん」キャラクターを掲載し、南風原町ならではの「ご当地婚姻届」を作成することはできないか。人生の門出を祝い、さらに南風原町に愛着を持ってもらうきっかけとなるのではないか。

2. 名古屋グランパス春季キャンプを問う

(町長 ・ 教育委員長)

(1) 名古屋グランパスの春季キャンプが2月に決定された。練習試合は何試合の予定か。

(2) キャンプ時の駐車場は来季もイオン南風原店の駐車場を利用できるか。

(3) 前回のキャンプ時には飲食ができる環境に改善の余地があった。反省を踏まえ、前回以上に屋台を増やす考えはあるか。

(4) 選手の皆さんが宿泊できるホテルの誘致はできないか。

(金城好春議員 一般質問)

3. 津嘉山地区の雨水幹線工事による県道128号線の迂回路について問う

(町長)

(1) 津嘉山地区の雨水幹線工事が県道128号線で開始される。その関係で、町道128道路上の立て看板には工事期間が11月下旬から平成28年3月までと書かれている。迂回路の開始はいつ頃の予定か。

(2) 県道128号線の迂回路予定道路(県道128号線の北側道路)は、つい最近アスファルト舗装され、グリーンベルトの色と白線が引かれている。道路の中央にも白線を引く考えはないか。

(3) 国道507号バイパスのマクドナルド前交差点から津嘉山十字路までの道路(津嘉山西線)にも、中央に白線を引く考えはないか。

(4) 迂回路とマクドナルド方面から来る道路とが交差する場所に、「一時停止」の標識が必要ではないか。

(5) 雨水幹線工事が完了すると、元のようにJAおきなわ津嘉山支店方面から津嘉山十字路まで県道128号線を直進できるか。

□ 大城勝 議員

1. 民泊でふえーばるの魅力発信を

(町長)

(1) 南風原町の民泊事業の現状を知りたい。

(2) 民泊事業を立ち上げて2年程になると思う。解決しなければならない課題は何か。

(3) 観光協会の進めている南風原名人制度創設事業は、民泊を発展・拡大させる点から有効な事業であると考えます。名人制度創設事業の今後のあり方を問う。

(4) 民泊事業は町外からのお客さんに「ふえーばるんちゅのちむぐくる」を発信できるまたとないチャンスだと思う。町行政はこの民泊事業を本町活性化の観点からどのように捉えているか。

2. 特定健診で腎臓の働きを見る検査について

(町長)

(1) 特定健診で腎臓の動きをみる検査として尿中タンパク検出検査がある。町は従来の方法より精度の高い方法を採用し、健診の精度を上げていることを評価したい。精度の高い方法を採用した理由と要した経費を知りたい。

(大城勝議員 一般質問)

3. 尿検査試薬の提供で生活習慣病の啓蒙を (町長)

(1) 地域のドラッグストアなどで小売り販売されている尿検査用試薬を使い、家庭でもタンパク尿の検出ができる。糖尿病や腎臓病など早期発見の立場から町民に尿検査試薬を提供し、生活習慣病対策への啓蒙活動ができないか。

4. 治療低下につながる薬の飲み残しの解消に向けて (町長)

(1) 医療費削減の観点から、薬の飲み残しである残薬が問題になっている。町は広報誌などを活用し、患者へ残薬解消の注意喚起ができないか。

5. 『住民健診ガイドはえばる2015』の広報内容について (町長)

(1) 本町が発行する『住民健診ガイドはえばる2015』には胃検査に関する国の推奨する方法が明記されている。しかし、今年7月に国の方針に変化があった。従来の胃バリウム検査を推奨しながら、内視鏡検査も推奨するとある。国のそのような方針に対して町の対応はどうするかを聞きたい。

6. 高齢者を狙う振り込め詐欺について (町長)

(1) 都市部で頻発した振り込め詐欺が、近日は地方へ波及しているとテレビ報道で取り上げられた。本町住民が振り込め詐欺などの被害にあったという事例報告はあるか。

(2) 老人会など各種公共団体と連携し、詐欺防止の取組ができないか。

□ 照屋仁士 議員

1. 行政のムリ・ムダを徹底的になくせ

(町長)

(1) 第三次南風原町行政改革大綱(平成24年度～平成29年度)の進捗はどうか。

(2) 行政改革では業務の標準化は当然だが、無駄な業務を洗い出し、効率化や廃止も検討するべきではないか。

(3) 1班1見直し運動を進める考えはないか。

2. 職員増でサービス増を

(町長)

(1) 南風原町総合計画の上下半期5年ごとの推移と現状を示せ。

①職員数 ②臨時・嘱託職員数 ③予算(特別会計含) ④人口

(2) さらにサービスや予算の拡充のためには、業務の効率化だけでなく、職員増が必要だと考える。町はどう考えるか。

□ 知念富信 議員

1. 不発弾撤去に対する作物補償を

(町長)

(1) 個人の畑で不発弾が発見された場合、不発弾撤去に作物補償費は計上されているか。

(2) 不発弾の現地処理で他の土地を借用の場合、土地代、作物補償されているか。

(3) 不発弾撤去申請に費目存置申請するべきではないか。

(4) 不発弾処理で不測の事故が起きた場合、周辺地域への損害賠償はどこが補償するか。

(知念富信議員 一般質問)

2. 国場川改修工事の早期完了を

(町長)

(1) 国場川改修工事の工事完了年度と工事区間はどこまでか。

(2) 平原橋の工事完了は何年度か。

(3) 兼平橋から上流に向け左岸は放置された状態であるが、工事着工時期を問う。

(4) 町道11号線は片側通行で不便である。歩道もない状況であるが、工事の予定はあるか。

3. 幼稚園の4歳児受入体制を問う

(教育委員長)

(1) 平成28年度から幼稚園で4歳児受入が開始される。4歳児受入の申込状況はどうか。

(2) 各園30人定員とした設定の経緯を問う。

(3) 新体制にともなう幼稚園教員の配置はどうか。

□ 宮城寛諄 議員

1. シルバー人材センター設置に向けて

(町長)

(1) 人材活用事業に、社協が実施しているファミリーサポートセンター事業、まちづくりサポートセンター事業と町で実施している人材サポートセンター事業がある。平成27年9月定例会でシルバー人材センター設置について質問したが、現在の取り組みの充実を図ることで対応したいと答弁があった。町民の要求に十分に答えきれていないように感じる。町民の皆さんが他市町村のシルバー人材センターを利用しているのを見ても明らかである。町や社協と窓口を分けず、一つにしていくことを検討してはどうか。現在の事業だと独自の事業ができないのではないか。

(2) 南城市や八重瀬町などのシルバー人材センターを訪ねたところ、多くの活動が実施されていた。就業機会の確保はもちろんである。研修や技能講習会、就業分野の開拓・拡大、独自事業、社会活動参加、指定管理事業、等々。当町も担当課にシルバー人材センター設置に向け調査研究させてはどうか。

2. 街路事業における補償費の返還を問う

(町長)

(1) 議会の全員協議会で街路事業における補償費返還について説明があった。大筋理解しているつもりであるが、あらためて確認する。町道3号線を挟んで工場側は補償の対象となったが、町は東側も事業の一体化ということで補償の対象とすべきとして補償した。ところが、国は道路に支障のない東側の補償はできないと返還を求めた。この解釈でよいか。

(2) 国が補償ができない理由は何か。

(3) 補償の対象外とされた東側について、仮に補償の対象外と分かった場合、町の単費で補償してでも事業を進めたか。

(4) 補償費の過大支払い分の返還1,221万6千円が町民の負担となる。平成26年度にも不発弾処理費用のもらえるべき補助金が当町の実ミスで交付されなかった。この間の事態は町当局に大きな責任がある。町長はどう責任をとるのか。

□ 浦崎みゆき 議員

1. 雇用につながる政策推進を

(町長)

(1) 本町の行っている雇用政策にはどのようなものがあるか。

(2) 課題として挙げられる点はどうか。

(3) 海外からの観光客が増加してる。特に中華圏（台湾・中国・香港）が64パーセントと聞く。しかし一方で、語学人材の不足が叫ばれている。交付金等を活用し、語学の人材育成から雇用に結びつけることができないか。

2. 子どもの貧困対策について

(町長 ・ 教育委員長)

(1) 本町における子どもの貧困に対する施策はどのようなものがあるか。

(2) 子どもの貧困施策のPDCAサイクルにおける政策評価を行っているか。

(3) 生活の支援として、子どもたちに地域で食事を提供する「子ども食堂」が全国的に広がっている。食堂は子どもたちの居場所づくりともなる。本町の「子ども食堂」への見解はどうか。

□ 新垣由雄 議員

1. 子育て支援新制度に関わる取組について

(町長)

(1) 待機児童解消に向けた町計画（南風原町子ども・子育て支援事業計画）は順調に進んでいるか。

(2) 認可外保育園への町計画の説明はなされているか。

(3) 計画外にある保育園への取組と説明はどのように考えているか。

2. 与那覇区通学路へ信号機設置を

(町長)

(1) 与那覇地域の北丘小学校への通学児童生徒の数は何人か。

(2) 車両通学と徒歩通学の割合はどうなっているか。

(3) 通称「赤橋」（町道153号線）からイオン南風原店に抜けたところの町道（町道43号線）に信号機の設置ができないか。

□ 大宜見洋文 議員

1. 児童館のさらなる有効活用の可能性は (町長)

(1) 新生児を家庭で育てている保護者の居場所づくりとして、児童館では幼児クラブを設置している。認可保育園や小規模保育施設と連携した事業展開ができないか。

(2) 夕方から深夜に児童館で貧困世帯の児童生徒の受入や深夜勤務の母子家庭の預かりへの対応ができないか。

2. 町内小中学校の情報共有のためのメーリングシステムについて (教育委員長)

(1) 各学校では学校行事やPTA、不審者情報などを保護者に連絡するツールとして「じんじん」メール連絡網システムを利用している。各学校のじんじんメールの登録状況はどうか。

(2) じんじんメール導入にあたり、他の業者のシステムとの比較はされたか。

3. 翔南小校区の翔南学童について (町長 ・ 教育委員長)

(1) 翔南学童は4小学校の中で唯一、校内の空き教室を利用しているが、そのメリットは何か。

(2) 翔南小学校区内に新規で何か所か学童の運営が始まっている。また、将来翔南小学校の児童数が増えた場合、そのことで翔南学童が教室を利用できなくなる恐れはないか。

(大宜見洋文議員 一般質問)

4. 南風原町役場職員、社協職員の勤務状況や労働条件は適切か (町長)

(1) 南風原町役場はいつも夜遅くまで庁舎内の電気が明々と点いている。特に教育委員会はまるで不夜城のようなイメージである。職員を増やすべきではないか。

(2) 町の関係福祉団体である社協は社会情勢の変化にともない地域課題が増加し、国からの重要施策が増え続けている。肝心の職員はここ10年間、正規職員の新規採用がないと聞いた。対応するために嘱託職員は増えても、限られた権限しか与えられない。正規職員に責任が増加していると思うが、町はどう考えるか。

5. 南風原高校郷土芸能部と観光協会のタイアップでアフターMICEへの新事業の可能性について (町長)

(1) MICE施設でのイベント等が終わった後、観光的な要素をともなったお金を落とす行動を「アフターMICE」という。町はアフターMICEへの施策を検討しているか。

(2) 中央公民館黄金ホールで飲食しながら南風原高校郷土芸能部のパフォーマンスを鑑賞することは非常に魅力的なメニューである。観光協会の収入確保につながる。南風原高校にとっても生徒の活動機会や将来のビジネスへのすばらしいメリットがあると思う。町長の考えはどうか。

□ 玉城勇 議員

1. 観光事業対策について

(町長)

(1) 南風原町の観光事業のひとつとして古民家「謝名家」を活用しているが、どのくらいの人数が訪れているか。

(2) 古民家の今後の活用方法はどのように考えているか。

(3) 町内に古民家として観光事業に活用できる戸数はどの程度あるか。

(4) すべての古民家の活用について検討しているか。

(玉城勇議員 一般質問)

2. 耕作放棄地の活用について

(町長)

(1) 町内の耕作放棄地は何筆で面積はどのくらいあるか。

(2) 耕作放棄地解消の対策でこれまでどの程度解消されているか。

(3) 一度に大きな面積を解消するには、さとうきび生産もよい方法と思うが職員、町民に推奨できないか。

3. 農業所得の向上対策について

(町長)

(1) 農業所得の向上が当面の課題の一つであるが、町長は基本的な対策をどう考えるか。

(2) くがに市場は、南風原町産の野菜、フルーツ、加工品等が購入できる施設である。町民に広く利用してもらえるようPRができないか。

(3) 町はこれまで、くがに市場のオープンに向けて周辺道路の整備等協力と推進を行っている。町とくがに市場で共同企画を行い利用客増と生産農家の所得向上、生産意欲を高めるための取り組みができないか。

□ 赤嶺奈津江 議員

1. 子どもたちに地域で活躍する場を

(町長 ・ 教育委員長)

(1) 子どもたちが地域で活躍できる場や将来の南風原町を考え、提案できる場として「こどもまちづくり会議」ができないか。

(2) 当町の特産物を使った料理コンテストを子ども会や字・支部対抗で行うことができるか。

(3) スポーツ以外でも町内の小学生が交流できるイベントを企画できないか。

(4) 異年齢交流のできる施設ができないか。

2. これからのまちづくりについて

(町長)

(1) 南風原町は4小学校区があるが、その校区単位で「校区まちづくり推進事業」を行うことはできないか。

(2) 10年後の自治会運営について、町・各自治会・住民で考える委員会を設置できないか。

3. 地域活性化の担い手となる人材育成を

(町長)

(1) 地域活性化の担い手を育成する「ふえーばるまちおこし塾」ができないか。

4. 沖縄県工芸振興センター跡を交流型宿泊施設に利用できないか

(町長)

(1) 照屋区にあった沖縄県工芸振興センターが豊見城市に移転する。その跡地を利用し、交流型宿泊施設等として利用できないか。

□ 大城毅 議員

1. 辺野古新基地建設を断念させるために (町長)

(1) 昨年の一連の選挙で示された県民の民意を無視する政権による基地押しつけは、「民主主義」「地方自治」をないがしろにする行為だと思うがどうか。

2. 宮平学校線街路事業の補償について (町長)

(1) 宮平学校線街路事業の補償について、国から「不当」とされ、町は返還を受け入れたのになぜ単費であれば補償が正当になるのか。

(2) 「不当」とされる補償を行った原因は何か。

(3) この件は南風原町の行う事業に対する町民の信頼を大きく損なったと思うがどうか。

(4) かさ上げをとまなうことにより、間口を閉められることを説明されずに用地売買に応じ、結果間口を閉じられて資産評価額の大幅減になったという相談がある。説明しなかったのはなぜか。

3. バス停への屋根設置について (町長)

(1) 沖縄銀行南風原支店前のバス停の屋根の進捗はどうなっているか。

(2) 当間原バス停に関し、都市計画決定がなされたと聞いたが、その経緯と意義を問う。また用地確保の状況はどうなっているか。

4. ちむぐる館マッサージチェアの改修を (町長)

(1) ちむぐる館のマッサージチェアは利用希望者が多いが、多くが故障し、利用者の支障になっている。改修すべきではないか。現状と原因、対策を示せ。

□ 花城清文 議員

1. 国の交付対象とならない物件移転補償金の返還責任を問う (町長)

(1) 国の交付対象にならない物件の移転補償 1, 527 万円支払い、そのうち 1, 221 万 6 千円が国への返還となった。11 月 9 日の議会全員協議会で説明した内容や物件に間違いはないか。

(2) 補償した物件は、個人所有でないかどうか。

(3) 前例のない補償である。なぜそこだけを認めたか。

(4) 町民に対し説明責任がある。説明したか。

(5) 町民には責任はない。なぜ町民の税金で返還するか。

(6) 昭和 37 年から国の補償基準は変わらない。町長の判断ミスが大きな原因である。どう責任をとるか。

2. 北丘小学校西側避難通路の安全性を問う (町長・教育委員長)

(1) 北丘小学校西側避難通路を安全な通学路にするため実施設計では緩やかにしてほしいがどうか。

(2) 通学路は幼稚園児、保護者も利用する。渡り廊下と繋ぐのは好ましくないと思うがどうするか。